



インスピレーションになろう

バリー・ラシンR1会長

郡上長良川ロータリークラブ

会長テーマ

繋ごう未来へ (心に残る 40 周年記念式典をみんなの力で)

会長：美谷添里恵子 副会長：山下誠 幹事：畑中知昭

第1922回 平成30年 9月 26日(水)

本日の行事 大和例会 (外来卓話：松葉様)

2018-19 年度

美谷添里恵子会長

幹事報告

畑中知昭幹事

* 日本事務局より 10月1日 \$112円

* ガバナー事務所より

マイロータリーへの登録マニュアル資料

* 各務原中央RCより ゴルフ大会組合表

* 長良川環境レンジャー協会より

長良川環境巡視活動終了式の案内

第1921回例会

会長挨拶

2018-19 年度 美谷添里恵子会長

皆さん今晚は、先週のスポーツ例会はとても皆さん楽しそうでした。西川先生は素敵は方で、ファンになられた方も見えたんじゃないでしょうか。ヨガ教室を月に2回は大和でやってみえるそうです。是非参加されると良いと思います。

私は先週の土曜日、高校の同窓会に行きまして。昭和48年度の卒業生で、今年は郡上高校100周年で記念の同窓会ということで、郡上高原のバカンス村で行いました。320人くらい同窓生のうち集まったのは50人足らずでとても少ないと思いましたが4年前のもの還暦の時に同窓会を行いましたが、その時は結構集まりました。同窓会が始まる前に物故者の読み上げがありまして、亡くなられた方がどのくらいいるのだろうと思いましたが、8クラスのうち大体3~5人亡くなられていました。5人は多いのではと思います。

亡くなった事も知らなかった人もあり驚きました。集まった私たちは「元気で集まれてよかったね」と言いながら同窓会をしました。卒業アルバムを持ってきた人がいて、女性はほとんどが面影があつてすぐ分かるのですが、男性陣はほとんどわかりません。「あの紅顔の美少年はどこへ行ってしまったの、同じ人じゃないでしょ」と思うくらいで、男の人の苦勞が多いのかと思いました。64歳の同窓会でしたが、楽しく過ごすことが出来ました。郡上高校100周年と云う事で、10月27日に記念式典と事業をするそうです。記念事業は女優の紺野美佐子さんの講演だそうです。同窓会は計画をしてくださる方がとても大変なのでなるべく参加しようと思っています。

先週仕事で東京へ行って来たんですが、新幹線の中で雑誌を読んでいて、これはこの通りだなと思う事がありましたので紹介したいと思います。

「命を守ることが苦手な日本人。みんなで逃げる地域作りを急げ。」東大の先生が言って見えました。「平成30年7月豪雨」は、死者220人に及ぶ甚大な被害となった。加えて被災直後からの猛暑は、復旧復興にあたる人々を過酷な状況に追い込み、被災者を苦しめている。この災害は最近注目されている短時間の局所豪雨、ゲリラ豪雨とは異なって長期間にわたって大雨が降り続けることにより、起こった。大雨特別警報が11府県に発せられ、避難指示、避難勧告も出された。このような雨の降り方は急斜面のみならず、緩斜面でも土砂災害が多発して、雨量が多かった地域だけではなく下流で河川が氾濫し、大災害となった。気象庁は早くから強いレベルで危険勧告を発し、行政、自治体は特別警戒を発し続けていた。しかし住民はそれを最大限に生かそうとはしていなかった。気象庁や行政の避難情報を適切にわが身の事として受け入れ、自らの命を守る主体性が今の国民に備わっていないのが現状で、その回線こそ我が国の防災に求められることではないだろうか。

昨年7月、九州北部の集中豪雨の時、気象庁も予想しないほどの雨が福岡、大分県を襲ったとき、避難路も立たれ、多くの犠牲を払った中で、犠牲者を最大限に防いだ地域があった、その地域は、2012年の時の災害の教訓を生かし、住民自ら非難記事を決め、皆で逃げる、このことをルール化していち早く非難して災害を最小限にとどめた。皆で逃げる為には早い段階から行動を起こさなければならない。重要な事は地域のみんなが互いに思い合えるコミュニティがあるかどうか。我が国の防災に求められるのは、自分、家族そして地域みんなの命をみんなで考え守る事。そして住民の思いに最大限にこたえる行政の努力ではないでしょうか。記念苑の災害に立ち向かうカギがここにあるような気がします。」というように書かれていました。私たちの地域も私の家は大丈夫、この地域は大丈夫とすごく過信をしているような気がします、私もその中の

一人です、もう一度考え直して防災に努めなくてはいけないと思いました。

米山奨学会について

担当 米山委員長 島崎秀樹君

財団経由で奨学生の受入をしています。郡上では地域に大学がないことから今まで受入はしていませんでした。先日のセミナーでいただいた資料の中に、奨学生受入の表をいただきました。必ず年位一度は受け入れているクラブから今まで一度も受け入れをしていないクラブまでの表です。何年かに一度は必ず全地区内のクラブが受け入れることに決まりました。

それに伴って、どこから順番かということで、東海北陸道グループでは2014～16年まで関RCが2年続きで受け入れを行い、かかみのRCが2017～19年まで継続、美濃RCが現在受け入れをしています。次年度になりますと郡上長良川RCと各務原RCが入ってきます。18-19年の受入奨学生の出身と大学は記載されていますが、来年度はまだ分かっていません。11月まで募集期間になっており、12月に地区で協議をして1月頃に決定し、5月頃から受け入れになります。受入の期間は実質11ヶ月になり、毎月ホストクラブの例会に出席します。基本的には単年度になります。

詳しくは11月1日にセミナーがありますので、分からないことを聞いてきます。

今までは大学近くのクラブにホストを依頼していましたが、2017年度から全クラブが米山事業に参加するように、順番に世話クラブを5年に一度の割合で回るように地区会議で承認されました。

カウンセラーは月一度の例会訪問の日程を調整する役割ですが、奨学生は月に一度、例会に出席し、奨学金を受け取ります。奨学生は自分で例会場所まで自分で移動します。ただこの場所は夜の例会であり、帰りの交通機関がありませんので、宿泊になるのではないかと思います。地区からは補助金4万円がでますが、オーバーした金額についてはクラブ負担となります。奨学生は会員と同じ立場になりますので、クラブの委員会に所属したり、活動に参加してもらうこともあるようです。カウンセラーはできれば会長経験者をお願いしようかと思いましたが、私がこのままカウンセラーとして引き継ぐことになりました。まだ誰がこのクラブに来るのか分かりませんが、今後のセミナーに参加し、分かり次第皆様にお伝えいたします。

会員3分間スピーチ

藤代昇君

今年73歳ですが、今年は厄年だったとっております。2月初めに40度の熱が3日ほど続き、鷺見病院で検査をしてもらうと数値がめちゃくちゃだと先生から言われ、救急車で木澤病院へ運ばれました。初めて救急車にりましたが乗りにくい事！1時間ほど掛るので大変でした。熱の原因が分からず検査検査で12、3日入院しましたが、胆のうにガンを見つけてもらいました。胃の裏側にあるので見つけにくいそうですが、初期で見つけていただいたので3月の終わりに開腹手術をしました。8月には前立の数値が高いと云う事で手術をしました。空鏡手術で、ダビンチというロボットでもらいました。今年2月から3回入院しました。人生でこんな事もあるんだと思いました。2年前にも胃ガンの手術をしましたので、自分の家系はガンの家系ですので覚悟はしていましたが、嬉しいことにすべて早期発見ばかりで転移もなく、これで手術をすることもないと思っています。入院すると体力が落ちますので、毎日30分ほど歩いています、お酒を飲んではいけないし、ゴルフもしてはいけません。早く体力を戻して、ゴルフやお酒が飲めるようにし、余生を楽しみたいと思います。

ニコBOX

ニコBOX委員会 藤代昇君

美谷添里恵子君 ようやく9月らしい爽やかな気候になりました。秋の夜長を生かしたいものです。

畑中君 30数年ぶりにギターの練習を始めてみました。さてもものになるでしょうか。

和田君 急に朝晩涼しくなると、虫の鳴き声も大きく聞こえます。秋本番嬉しいですね。

山口君 秋らしい花が飾ってあります。お心使いありがとうございます。

寺田正実君 実りの秋、稲刈りもようやく終わりました。イノシシあり、隣の山の木が倒れ込み、散々な稲作でした。

島崎君 日曜日に子供の運動会がありました。子供の種目は大玉ころがし、でも曲にダンシングヒーローが流れると、1年と2年の子が一斉に踊りだして楽しかったです。

井俣君 16日(日)事務局原さんの娘さんの結婚式でした。とてもいい挙式で感動しました。ありがとうございました。

小島君 今夜、別の会があるため、早退しますので、お願いします。

三島昭君 先週の例会、急な用事が出来、休みました。申し訳ありませんでした。

藤代君 少し秋らしくなってきました。夏の疲れが出る頃なので、体調に気を付けましょう。

同文 佐藤君、山田君、三島勲君、岩谷君 (本日14,000円 累計221,500円)

出席報告	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率
第1920回	34名	23名	9名	2名	73.53%
第1921回	34名	22名	12名		64.71%